

メンタリングのご紹介

概要

経団連のメンタリング研究に端を発して、ベンチャー・中小企業を助けるために2009年よりNPO法人産業技術活用センター（略称 ITEC）内の組織として経営者メンタークラブを創設しメンタリングを行っている。

メンタークラブではベンチャー・中小企業の経営者に対してメンター会員によるメンタリングを行うのを主な活動として、メンティー、メンターの交流の場も提供している。

ホームページ <https://www.npoitec.jp/mentor/index.html>

メンタリングの概要

ベンチャーや中小企業の経営者である会員（メンティー会員）とメンター会員の担当（原則一人、複数も可）が面談、メンティー会員の悩み、課題等について広く話し合い、メンター会員の経験に基づいてメンティー会員を助ける活動をメンタリングと称している。

相談内容は事業経営、人事、後継者問題、ときとして個人的な問題等多岐にわたる。但し、原則的には顧客紹介や資金調達の直接的な支援は対象外としている。

通常1, 2か月に一回、2時間程度、継続的に実施されている。実施場所はメンティー、メンター会社の会議室か ITEC 会議室（九段下）が多い。

担当メンター決定のプロセスとメンタリングの実施

メンティー候補が交流会（8月を除く偶数月開催）に参加し、そこでの交流会でメンター数名（通常5から10名）との“お見合い会”を通じてメンターを知る。臨時に開催もある。

その後、両者の意見をもとに事務局が調整し、両者が合意した時点で担当メンターが決定され、メンティー候補は会員となる（年会費3万円）。

以降は担当メンターとメンティー会員の協議によりメンタリングを設定、実施する。

メンタリング以外の活動

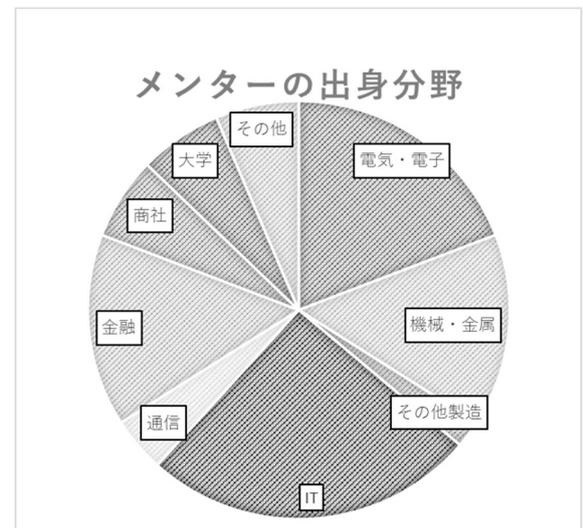
交流会において、メンティー会員同士の交流、メンティーの事業紹介、メンター他による講演会が行われる。忘年会以外は不定期だが、メンティー、メンターの懇親会も行われている。

ITEC による、メンタークラブ外の活動として、大手企業へのメンティー会員事業の紹介や大企業 OB 人材の紹介活動も行われている。

メンターの構成

メンター会員は約50名。多くは大企業役員OBだが、メンティーの卒業生等多様な人材がそろっている。右に出身分野の割合を示す。このうち10人ほどは自身の起業やVC活動等でベンチャー活動の直接的経験を持っている。

前記ホームページからメンターのリストを見ることができる。



メンティーの構成とメンタリングの評価

2019のアンケート結果を参考に添付する。

